Dreams come true.

わたしの夢

佐藤 煌太（こうた）さん　　醸芳中3年生

声と挨拶で明るい気持ちに——人を元気にする大人を目指して

私の夢は、人を明るくして元気を与えられる職に就くことです。きっかけは二つあります。一つは、ラーメン屋に入ったときの元気な挨拶でした。その時、声だけで心が明るくなる経験をしました。もう一つは、学校の先生です。勉強は面倒なイメージがありますが、先生が楽しく教えてくれるから、しっかりと学ぶことができます。こうした経験を通じて、自分も人を明るい気持ちにさせられる大人になりたいと思うようになりました。そのため、日頃から第一印象となる挨拶を意識し、自分も相手も明るい気持ちになれるよう、地域の人にもしっかりと挨拶するよう心がけています。夢はまだ明確に定まっていませんが、人に元気を与えられる職を目指して、安心と信頼を届けられる大人になるよう、これからも進んでいきたいと考えています。

選挙の結果をお知らせします

9月20日執行の桑折町長選挙および桑折町議会議員補欠選挙は、9月15日の告示日において、届出のあったそれぞれの選挙において候補者が1人であるため、無投票となりました。

町長選挙

	候補者名
当選	髙橋宣博

経歴については6ページをご覧ください。

町議会議員補欠選挙

	候補者名
当選	和泉真司

無所属、新人
会社役員、桑折町商工会青年部長

和泉真司

町のごみ排出量
※1人1日あたりの排出量

令和8年8月 **1,059g** 前月比+21g
（令和7年8月 987g　前年比+72g）
生ごみはぎゅっとひと絞り！ごみの減量にご協力をお願いします。

分別に困ったら…
伊達地方衛生処理組合のホームページで検索

広　告

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS ｜ SDGsインフォメーション

問生活環境課
☎582-2123

ごみの少ない町へ、ごみの出し方教室を開催しています

町では、ごみ減量化の推進や分別知識普及のため、職員を派遣し、ごみの出し方教室を行っています。教室では、可燃ごみに含めてしまいがちな資源物の分別方法やワンポイントアドバイス、町の補助金制度などについて具体的にお伝えしています。

9月は商工会女性部、サロン上成田で開催し、分別方法の紹介や参加者同士で減量についてのアイデアを出し合いました。参加者からは、ごみ減量のために「生ごみは十分水を切ってから出すよう気を付けたい」や「紙ごみの分別を徹底したい」、「家族や友人に広めたい」などの感想が出ました。

開催を希望する人は、生活環境課まで、気軽に問い合わせてください。

◀商工会女性部

サロン上成田▶

すぐにできるごみ減量術について
町の公式 YouTube で紹介しています。⇒

ともに創る、こおりの未来

住民自治協議会の取り組み

半田地区住民自治協議会で防災合宿が、7月25日から26日にかけて行われました。

この取り組みは、防災意識の向上や防災倉庫の活用を図るため、平成30年度から半田醸芳小学校の4年生を対象に実施しています。

今年度は、児童5名と保護者が参加し、防災倉庫の見学や個室型テントの組み立て、非常食の試食や50人分のカレーの炊き出し訓練を実施しました。また、半田公民館内を避難所に見立て、設営したテントで一晩を過ごし、最後はテントなどの片づけまでを一連の避難所生活として体験。いざというときに、慌てずに行動できるよう親子で実践的な防災力を養いました。

▲配膳する際にも、お皿に袋を被せて洗い物を減らすなど、災害時の対応を学びました。

広　告